

第1回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日時	令和7年5月26日(月) 午前9時00分～午前10時45分
場所	豊橋市役所 東121会議室
報告者	安形 義光
出席者	別紙のとおり
傍聴者	なし

1 開会

- 欠席者 佐羽尾委員
- 事務局から委員の半数以上の出席が確認できたため、規則に基づき本会議が有効に成立していることを説明。
- 議事の進行については会長が行うこととなっているが、会長が選出されるまで市民協働推進課長が代理で議事の進行を行うこととする。

2 市民協創部長あいさつ

- 市民協創部長あいさつ

3 委員紹介

- 事務局から資料1について説明。委員及び事務局が順番に自己紹介。

4 会長及び副会長の選出

- 委員の互選により、会長は菊地委員、副会長は高野委員に決定。
- 議事進行を会長に依頼。

5 議題

(1) 豊橋市市民協働推進審議会概要、審議会規則、会議傍聴要領

- 事務局から、資料2-1、2-2、2-3について説明。
 - ・会長：審議会については、原則公開でよろしいか。
(委員からの異議なし)
 - ・会長：異議がないため、原則公開とする。
 - ・会長：議事録の署名は、会長と副会長を除き名簿順で2名ずつとしたい。今回は、河井委員と細田委員にお願いする。

(2) 令和7年度事業概要

○事務局から、資料3について説明。

- ・委員：補助金が活動の中心になると思うが、補助金ではなく活動に参加している人が地域通貨を発行し、市がそれを買い上げるという補助を行えば流通するなかで活動の内容も明らかになっていくのではないか。
- ・委員：過去に地域通貨を立ち上げた方がいたが長く続かなかったので、仕組みをしっかりと考えないといけない。勉強しながら一緒にやっていたら。
- ・事務局：自治会からも地域通貨の提案はあるが難しい部分もあり、市全体として取り組むまでに至っていない。ご意見を踏まえ考えていかななくてはならない。
- ・委員：豊橋だけでなく、東三河や豊川流域など広く考えた方がよいかもわからない。
- ・委員：市民活動総合補償制度は届け出があった事業や活動に対して補償をするというものか。また、災害ボランティアセンターについて、能登の地震ではどのようなことを行ったのか。
- ・事務局：補償制度は、基本的に市民センターに登録された構成員5人以上の団体を対象としている。自治会や子ども会など、市が把握しているものについては届け出なくても対象としている。ただし、もともと行事に参加するメンバーになっていたかなど、補償の条件は色々ある。能登の地震においてセンターとしての活動は行っていないが、社会福祉協議会が直接支援に行かれた。

(3) 第4次豊橋市市民協働推進計画 中間報告(案)について

○事務局から、資料4-1、4-2について説明。

- ・委員：資料の内容は、ホームページに掲載するのか。
- ・事務局：市議会にお示しする際には、議会資料として公開をしていくことになる。
- ・委員：市の情報を見たときに、難しくハードルが高く感じてしまう。若者でも理解しやすいような資料があるとよい。また、外国語の資料もあるとよい。
- ・事務局：市の取り組みを進めるに当たっては、若者の意見をしっかりと聞くという方針が出されている。どういった方法で若者の声を拾うか考えていきたい。概要版を作っている自治体もあるため、そういったことも検討していきたい。

- ・ 委 員：地域コミュニティに若い世代が入っていくことの記載がない。極端な例かもしれないが、若者が自治会長になって活性化したところもある。ボランティアでも、若ければ30代の方も団体を作ってコロナ後に活動しているので、興味があるうちに自治会にどう関わっていただくか考えるような施策があればよい。
- ・ 事 務 局：地域社会を支える多様な人材によるまちづくりの推進という部分で、若者や女性、外国人など多様な人々がまちづくりに参加しやすい環境を整備する必要があるとしているが、前半部分でも同じような方向性が示せるとよい。
- ・ 委 員：地域コミュニティ活動に若者が活躍できる部分とできない部分があって、そのあたりをどうやって分担していくか見えてこないと難しいのでは。校区全体の活動を若者が担うのは難しいと思う。
- ・ 委 員：仕事や役割は市ともお話しただいて、その中でやれることができれば。NPO等の話を聞くと地域に入りたいという方も多いが、自治会の方はどこの誰という反応をされてしまうので、もう少し受け入れていただけるとよい。
- ・ 委 員：以前、中学校の防災訓練に参加したが、中学生から地域の方と関わって色んなことをやってみたいという声を頂いた。一方、校区で防災訓練や体育祭を開催しても参加者が全然いない。学校行事などで参加できないというのもあるかもしれないが、それでもやっていかななくてはということで、今年度、小学校と地域で合同の防災訓練を行う。そういう取り組みの中で、大きくなった際にまた地域に戻ってくるということになればよい。
- ・ 委 員：若者が入っている校区では、若者が発言しやすい環境が整っている。フラットな状態で若者や保護者の意見を取り入れていこうという気持ちがあるかどうかで、大きく違うのではないかと感じている。
- ・ 委 員：多様な主体による協働というのはもちろん、多様な世代間の協働というのも重要。少しずつでも先進事例を出して行って、それを見て他の地域も変わっていくとよい。そのために市としてどういう支援が必要かという視点で考えていけたらよい。
- ・ 委 員：市民協働とSDGsは関係が深いと思うが、何らか指標は明示しているのか。また、校区市民館の利用者数がコロナ後頭打ちになっているように感じるが、施策としてどんなことを考えているか。さらに、自治会のデジタル化について、デジタル化の目標がないので、頑張っても成果として反映されないのは残念。

- ・事務局：第3次計画を策定した際にSDGsに触れているが、指標は設定していない。第4次計画では設定した方がよいうというのであれば、また意見として頂きたい。校区市民館では、1団体当たりの利用者の減少や、高齢の方の活動が縮小されているように感じる。地域には色々な人材がおり地域講座を市として推し進めている。校区の方々がつながりを維持しながら行う様々な活動に対して支援を行っていきたい。また、昨年から市民館のルールを見直し、事業者の営利活動でも市民館を使用できるようにしたので、その周知を強化することも必要だと考えている。デジタル化に関しては、対応できる人と対応できない人が二分化されてしまうので、目標にしてしまうのは難しい。
- ・委員：デジタル化は推し進めるべきだと思うが、高齢の方や障害をお持ちの方など、流れについていけない方が情報弱者にならないような配慮は必要。また、地域福祉計画も改訂になると思うので、矛盾がないように確認してほしい。
- ・事務局：地域福祉計画とは整合性をとって進めていく。
- ・委員：事業者向けアンケートのなかで市民協働推進基金の周知を図ったとあるが、アンケートで周知はできるのか。
- ・事務局：基金のことを知っていますかという問いと併せて、基金の制度を紹介した。
- ・委員：デジタル化について、ペーパーがなくなるのは不安である。見ることはできるが、情報を発信することはできない。また、自治会に若者を取り入れるというところで、私の校区では昨年、イベントを行う際に中学校へボランティアのお声がけをした。多くの方々が来てくださったが、これも若者を取り入れるということになるのか。
- ・委員：コミュニティスクールをやっている小中学校があるが、地域の活動と絡んだ部分が多い。校区と学校が合同で運動会や防災訓練を行う際にコミュニティスクールの活動として行えば双方の評価になるのでは。

6 その他

(1) 第2回審議会について

○事務局から説明。第2回目の審議会については7月に実施予定。議題は補助金の審査について。

- ・委員：補助金について、辞退するところがあったと聞いている。また、辞退した後に、やっぱり欲しいと言ってきたところがあると聞いている。辞退されるのは仕方ないが、再度認めることのハードルの低さ。審議会で時間をかけて決めたことなのに報告もない。申請者には責任をも

ってやっていただきたいし、今後こういう報告はしていただきたい。
また、市民協働推進補助金のほかに、別の所から補助金をもらっている事例があるので精査してほしい。

- ・事務局：団体の代表の方が辞退に来たので承認をしたが、後日副会長たちがお見えになり、団体の中で話し合いが上手くできていなかったと。今回は団体としての辞退はないと整理し、補助金の対象としたものが1件。もう1件は自治会から支援をもらえることになったので辞退となった。

7 閉会

以上をもって、本審議会を終了とする。

令和7年6月27日

議事録署名者

河井 裕

細田 京子

市民協働推進審議会委員名簿

NO	選出区分	氏 名	備 考
1	学 識	きくち ひろゆき 菊地 裕幸	愛知大学から推薦 地域政策学部 教授
2	コミュニティ関係	たかの えいじ 高野 英司	豊橋市自治連合会から推薦 自治連合会 理事
3	ボランティア関係	かわい ひろし 河井 裕	豊橋市社会福祉協議会から推薦 社会福祉協議会 職員
4	事業者	ほそだ きょうこ 細田 京子	豊橋商工会議所から推薦 豊橋商工会議所女性会 会長
5	NPO関係	よしだ のりこ 吉田 典子	市民センター指定管理者から推薦 豊橋市民センター センター長
6	公募市民	すずき まり 鈴木 麻莉	
7	公募市民	おざき ともゆき 尾崎 悌之	
8	若者（大学生）	ふるやま かほ 古山 果歩	愛知大学から推薦
9	若者（大学生）	まつお そうへい 松尾 早平	豊橋創造大学から推薦

※任期：令和7年5月10日～令和9年5月9日

《事務局》

市民協働推進課 課 長 兵道 邦央
主 幹 杉浦 夕紀子
課長補佐 文野 耕太郎
主 査 山本 紘史
主 査 花井 寿邦
主 事 安形 義光
主 事 西山 優太郎